



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者

執行委員長 針谷 歩

2021/1/1 No.12



# 新年 年頭あいさつ 八王子地本執行委員長 針谷 歩

JR東労組八王子地本は、昨年12月20日、国分寺労政会館において、第24回再建大会を開催しました。暫定執行部発足以降、共済活動、組合員の声をもとにした団体交渉を行い、再建に向けた議論を積み重ねてきました。開催にあたり、多くの機関から激励をいただき、新体制を確立しました。

JR東労組八王子地本の再建は、OB組合員の先輩方の奮闘なくしては今日を迎えることは出来ませんでした。私たちは、感謝の気持ちを忘れず、これからの運動と分会体制の再確立に邁進していく所存です。

当日は、8名から発言を受け「18春闘からの組織問題に対する不信感」「自分がなぜ東労組にいるのか」「会社施策に共に向き合ってきた。JR東労組だからできた」など、再建の重要性と期待感の大きさも実感できました。

私たちは、役員の立場を優先するのではなく、組合員の利益を第一義に考え、自由に意見を言える組織をつくります。情勢を正しく掴み、組合員の声にもとづいた運動方針を掲げ、諸問題の解決に向けた取り組みを創り上げていく決意です。

「私にとってのJR東労組」を一人ひとりが確立しながら、第46回定期中央委員会で確認をした『新生JR東労組運動宣言』を全組合員と共に実践する分会・職場活動を構築していきます。

昨年12月21日、日本医師会など9団体が「医療緊急事態」共同宣言を発表しました。新型コロナウイルスの猛威はとどまることなく、人命への影響も甚大です。これまで当たり前だったことが制限され「新しい生活様式」が求められるなど、社会環境の変化や企業経営にも大きな打撃を与え、私たちの雇用と生活に大きな不安を与えています。

昨年12月1日、総務省が発表した10月の完全失業率は3.1%、完全失業者数は215万人で、9ヶ月連続の増加にあり、新型コロナウイルスに関連した解雇は、7万4千人にものぼります。この社会環境と私たちは無関係ではないことの危機感を共有しなくてはなりません。

JR東日本会社が掲げている「変革のスピードアップ」に対しても、コロナ禍という厳しい現実を踏まえつつ、建設的で真摯な議論を積み上げていくことが重要です。

昨年9月9日、JR東労組本部は『雇用と職場を守るためのJR東労組緊急提言』を発出しました。今、まさに労働組合の存在意義が問われています。私たちは組合員の雇用と生活を守るために、『緊急提言』の意義を深め、赤字とコロナ禍を乗り越えていかなければなりません。そして、組合員の雇用と生活を守るために、2年連続の赤字は何としても避けなければならないのです。黒字経営にむけ、組合員の知恵を出し合い、安全で安心できる鉄道を提供し、利用者を取り戻すための取り組みも大切です。

つづく (その2へ)

